

SIRシリーズ 施工手順書

◆安全に関する重要な内容です。

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。



警告



禁止

- ◆製品の分解・改造はしないでください。
⇒火災・感電・故障の原因となります。
- ◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。
⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。



必ず守る

- ◆結線は所定の方法で、確実にこなしてください。
⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。
- ◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者がこなしてください。
⇒火災・感電・故障の原因となります。
- ◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。



注意



禁止

- ◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。
⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
- ◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしないでください。
⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。
- ◆通行の障害となる様な場所や机の下等、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。
⇒製品の破損・故障の原因となります。



必ず守る

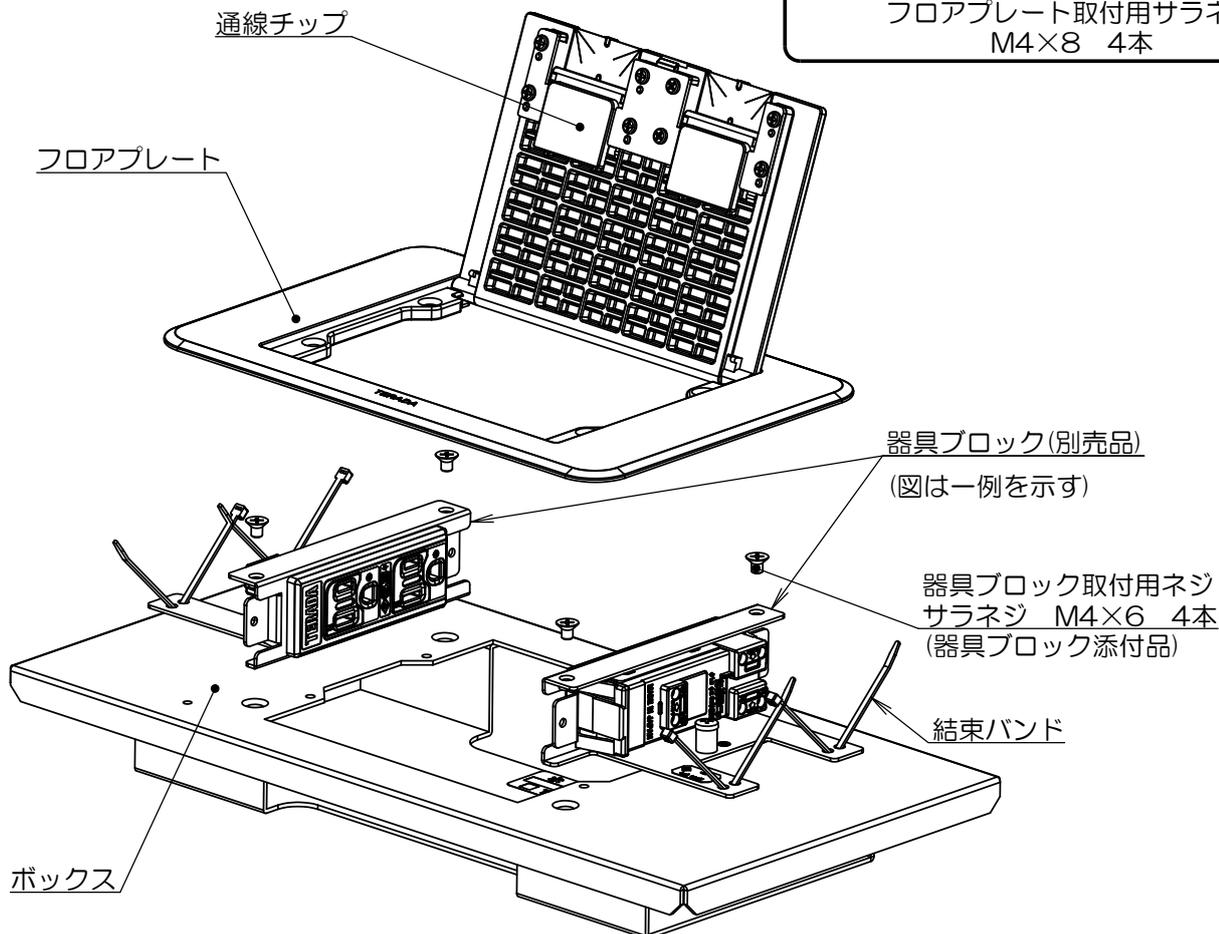
- ◆床暖房が施されている床に施工しないでください。
⇒結露し漏電・感電の原因となります。
- ◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。
⇒火災・感電・故障の原因となります。
- ◆各取付ネジは確実に固定してください。
⇒製品の破損・故障の原因となります。
(インパクトドライバの使用不可)

◆部品構成と名称

添付品



フロアプレート取付用サラネジ
M4×8 4本



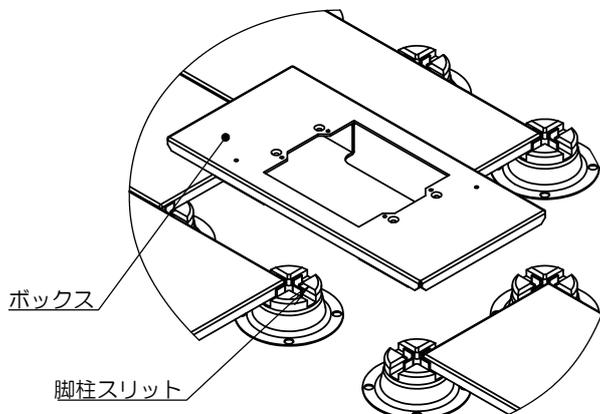
◆注意◆

- ・スライドボタンは、ドライバー等で強く押さないでください。
破損・機能不良の原因となります。
- ・取付用ネジは、定期的にし締めを行ってください。

施工方法

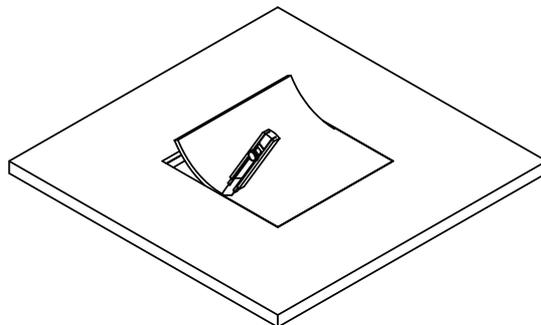
1 ボックスの設置

ボックスの四隅をOAパネルの脚柱スリット部へ差し込み、ボックスを固定してください。



2 仕上げ材の開口

床仕上げ材を指定寸法に開口します。
開口寸法は124~128×184~190

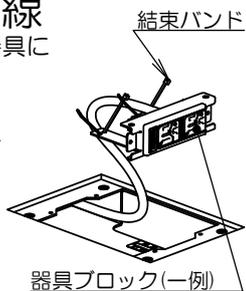


3 器具ブロックの結線

ケーブルを床下から引き出し、配線器具に接続してください。

配線方法については、各コネクタの配線方法に従って行ってください。強電系器具ブロックにはアースネジを付けてあります。必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。

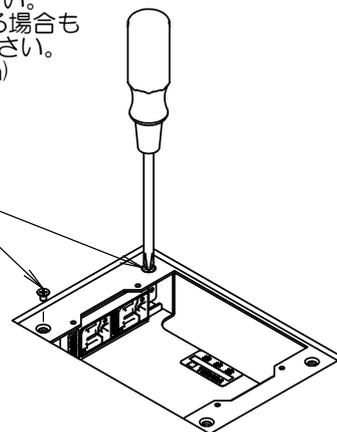
※ケーブルは張力が掛からないよう結束バンドで固定してください。



4 器具ブロックの固定

器具ブロックを添付のサラネジ2本でボックスに固定してください。対面へ器具ブロックを取り付ける場合も3と4の手順を同様に行ってください。(推奨締め付けトルク：0.8N・m)

器具ブロック取付用ネジ
サラネジ M4×6 2本
(器具ブロック添付品)

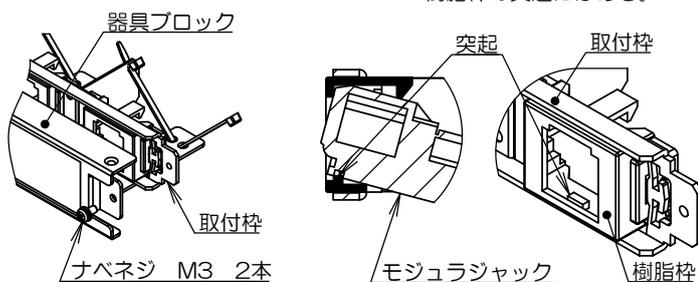


モジュラージャックの結線について

モジュラージャックを器具ブロックへ取り付ける際は、下図の様に固定してください。

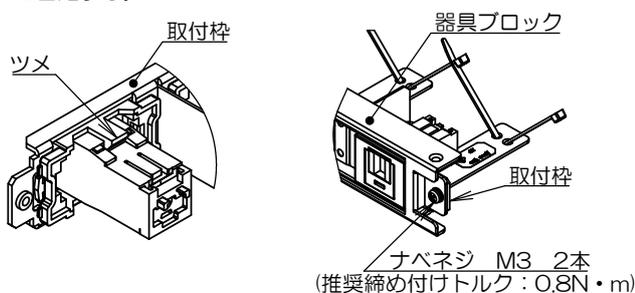
1. 器具ブロックから取付枠をはずす。

2. モジュラージャックを傾け樹脂枠の突起にはめる。



3. ツメで固定する。

4. 取付枠を器具ブロックに取り付ける。

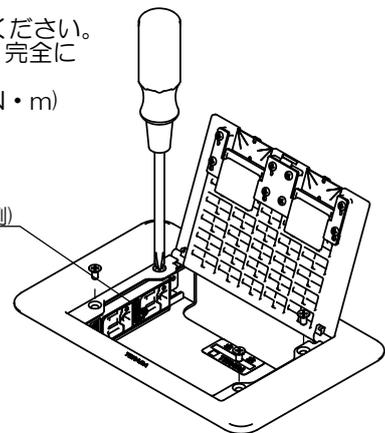


(推奨締め付けトルク：0.8N・m)

5 フロアプレートの固定

フロアプレートを添付の取付用サラネジ4本で固定してください。向きは必ず図のようにしてください。フタを「パチン」と鳴るまで、完全に閉じてください。(推奨締め付けトルク：0.8N・m)

器具ブロック(一例)



■ お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361